

幹部トシテ行等レツ、タル或百ハ販賣金ヲ私清シ販賣部ニ納金セザルノ功金ニ於テ其責任ヲ負担セザルヲ得ザルニ至リタルモ、其ノ合ムモノナリ。

(三) 特種寄附金ノ件

船員改善助成金ヲ受ケテ新造スル船主ヨリ受ケタル寄附金中金六百円セリ航海指針ノ出版費トシテ支出シタルハ事實アリ然レ共航海指針ノ編集費、印刷費、印刷代等ヨリ行ワレシ以上前等不常ニ非ズ而モ此、立替金ハ航海指針ノ売上ヲ以テ全部返済シ得ベキモ、又該千五百円セリ付交通貨、会議費、雜費等トシテ費消シタリトシテ夫々用途及金額ヲ掲ゲ居シ共〇ノ印キ数字ハ單ナル想像ニシテ仰着根拠ナキモノナリ。口金は千五百円セリ日本海貿易組合ニ預ケ金トナリ会計報告ニモ單ニ假拵金トナリ居ルモノニシテ詳細ハ海員協会パンフレット第十七頁前載ノ通りナリ。

(四) 航海指針出版ニ関スル件

航海指針ノ出版費軍備ガ高価ナル如ク稱スレ夫結果ヨリ身タル組費、紙代、印刷代等ヨリ考案シタルモノナルベリ本書ハ英字、数字ヲ多用シタル事尙書ニシテ出版元ト契約以來庚ニ二ヶ年ノ日数ヲ費シ只、回数度ニ亘リ改版、組費シハモトヨリ一部印刷停止等回数ニ亘リ煩雜ヲ加ヘタルモノニシテ單ニ出来上リ、製本ニ付小口一枚、軍備ヲ論ズベキニアラズ殊ニ印刷所ニ於テハ特殊活字ヲ多数購入シ他特別、苦勞力ヲ考テ決シテ不常ニ高価ナルモノニアラマシ又出来上リ製、小口一枚ニ對スル軍備ヲ標準トスルモ本書ト同等ノ軍備ニテ出版セザレ

タルモノ其例ニ乏シカニ又編輯手當トシテ金五百五十円セリ從業員ニ支出セルハ事實ナレ共授職事業就業員ハ軍ニ授職部ノ勤務時間中執務セルモノナルガ協会従業員ハ多忙ナル本務ノ傍ヲ特別ノ時間ノ努力ヲ傾ケ編纂一切ノ事務ヲ擔ヒタルモノニシテ理事會ハ特別ニ其勞ニ對シ石金額ヲ支給シタルモノナリ、又本書出版ニ付金貳千円セリ昭和六年十一月中心出版手附金トシテ支拂ヒタルハ石日時ニ出版契約ヲ履行シ直ニ出版ニ着手シタルモ途中原稿、要改模倣等アリ約二ヶ年近クノ日數ヲ費スニ至リタルモノニシテ一般取引上不當ノモノニ非ズ。

(五) 授職事業ニ関スル特別会計ノ件

本賣目ノ收入ハ授職部ヨリ受クル家賃ナルハ事實ナリ然レ共彼等ノ主張スルガ如ク之ヲ本會計ニ繰入ル時ハ此、火件費五百九拾四円ハ當然失業救済資金中ヨリ支出セザルベカラザルモノニシテ却ツテ彼等ノ前取項ニテ反對セル主張ト相反スル結果トナルベシ即チ此、火件費ハ授職事業・田滿遂行ノ原ニ從事スル火災ニ對スル手當ニシテ其、大部分ハ授職就業員ガ受ケツ、アリ。尚昭和八年度授職依託事業補助金壹千円セリ、支出ハ授職事業開始當初ニ於ケル海員協會請支出中結局逆信者ヨリ認め得ラザレ部分(設備費手當等)ヲ填補スル際、モノニシテ之亦不得ニモナリ。

石、如ク會計ニ關スル不當不正、事實ハ毫末モ無ク多クハ彼等ケ情ヲ知りテラ特ニ中傷、誣、羅列シタル事項ニ過ラザルモノナリ。

以上